

射水市教育委員会 7月定例会次第

日 時 平成30年7月26日(木)
午後2時00分から
場 所 庁舎会議室401

1 会議録の承認

2 協議事項

- (1) 教育に関する事務の点検・評価報告書について(平成29年度分) 資料1
【学校教育課、生涯学習・スポーツ課】

3 各課等の連絡事項及び報告事項

- (1) 学び応援塾の実施について【学校教育課】 資料2
(2) 北信越中学校総合競技大会出場選手について【学校教育課】 資料3
(3) 射水市図書館協議会について【中央図書館】 資料4
(4) 主な事業の進捗状況について

- (5) 教育委員会行事予定 資料5

4 その他

※ 次回教育委員会の開催日時について
月 日() 時 分

教育に関する事務の点検・評価報告書（平成29年度分）の概要

【学校教育課】

番号	基本的施策	種別	総括	ページ
1	確かな学力の定着	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上委員会を開催し、全国学力・学習状況調査等の結果分析と学力向上に対する取組を企画・実践した。 ・学習サポーター41人、チームティーチング指導員8人を配置し、きめ細かな学習指導と生活指導を行い学習意欲の向上につなげた。 ・学校図書館蔵書の充実と図書館職員・図書館を活用した授業を実施した。 	5
2	心身ともに健やかな子どもの育成	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒理解や学級状況の把握のため、学級診断尺度調査(Q-U調査)を実施した。 ・市スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの効果的な配置と活用により児童生徒・保護者・教職員の悩み、不安等の心の問題の改善と解決を図った。 ・児童生徒の「食」への関心と理解を深めるとともに、望ましい食習慣が身に付くよう、家庭や地域と協力、連携をしながら取り組んだ。 	9
3	特別支援教育の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習サポーターを効果的に配置するとともに、実態に応じた特別支援学級の開(閉)級と通級指導教室の開設を進めた。 ・小中学校統一した個人記録票を作成し、小中一貫した支援や指導を実施した。また、「小学校への連絡カード」を作成し、幼保小の連携強化を図った。 	17
4	郷土愛を育む教育の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本「ふるさと射水」等を活用した、ふるさと学習に取り組み、地域に誇りがもてるよう意識付けた。 ・社会に学ぶ14歳の挑戦を286カ所の事業所の協力のもと実施した。 ・積極的に環境教育に取り組み、環境に対する意識を高めた。 ・意欲ある中学生を対象に、貴重な体験と刺激を得る機会として、「いみず鳳雛きらめき塾」を実施した。 ・ふるさと教育として、小学生を対象に「射水市子ども議会体験プログラム」開催した。 	18
5	安全教育の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・火災や地震、津波、風水害、不審者等に備えた避難誘導訓練と緊急時の対処法の習得に取り組んだ。 ・「射水市通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関等と通学路危険箇所の合同点検と危険箇所の改善を図った。 	21
6	グローバル人材育成のための基盤づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTマイスター教員が作成したICT活用ヒント集とデジタル教科書を活用した授業に取り組んだ。 ・全中学校に外国語指導助手(ALT)、外国語活動指導員を配置し外国語教育の充実を図った。 	23
7	信頼される教育の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域に対して、学校行事や教育活動等を学校便り等で、積極的に情報を発信した。 ・教員の資質向上のための研修や優れた教育活動を実施している教員を「マイスター教員」として認定し、その優れた指導力を若手教員等に広めた。 	26
8	幼児教育の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区ごとに、幼稚園・保育園等と小学校の交流を実施し、子どもの発達や対応に関する情報共有を図った。 ・幼稚園教諭、保育士間相互に教育・保育を参観や意見交換により互いに幼児教育についての理解を深めた。 	28
9	学校施設の整備推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い教育活動が行われるよう、安全性・機能性に配慮した改修・修繕工事を行った。 ・国庫補助の採択を受け、大規模改造工事、グラウンド改修工事及びプール改築工事を行った。 	31

教育に関する事務の点検・評価報告書（平成29年度分）の概要

【生涯学習・スポーツ課】

番号	基本的施策	評価	総括	ページ
10	家庭における教育の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・じいちゃんばあちゃんの孫育て談義を5つの地域で実施し、孫育ての情報交換を行った。 ・富山大学地域連携推進機構と連携し、家庭教育支援講座や家庭教育アドバイザー養成講座を実施した。 ・心身ともに安定した健やかでたくましい子供を育てるために、あつたが家族の愛と「家族いっしょ」に「食事 おしゃべり お手伝い」を市内の関係団体の協力を得ながら普及啓発活動を展開した。 	33
11	地域における教育の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々の参画を得て、放課後子ども教室推進事業(全15小学校区)と土曜学習推進事業(8小学校区)併せて45サークルを実施し、児童の健全育成を図った。 	36
12	生涯学習推進体制の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業を全27地域振興会へ委託し、コミュニティセンターにおいて地域の要望・特色に応じた講座・学級を開設した。 ・生涯学習事業の延べ開催回数、延べ受講者ともに前年に比べ増加した。 	38
13	生涯学習関連施設の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各コミュニティセンターは、生涯学習、交流、地域づくりの場として定着してきている。 ・趣味の多様化が進展している中で、市民一人当たりの図書貸出冊数は微減した。 	40
14	芸術文化活動の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・本市ゆかりの美術作家展として、「追悼展 郷倉和子80年のあゆみ」を開催し、市民に郷土が誇る美術作家の作品を鑑賞する機会を設け、画業を紹介した。 	42
15	文化財の保存と活用	A	<ul style="list-style-type: none"> ・放生津の築山行事及び曳山行事の保存継承を図るため、「射水の築山・曳山行事調査」を開始した。 ・各種文化財の保存修理及び活用に取り組み、新たに4件の国登録有形文化財を登録することができた。 ・新湊博物館では、文化財を活用して、地域に伝わる習俗、昔の景観や暮らしを紹介する企画展を開催した。 	44
16	スポーツ・レクリエーション活動の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市内5つの総合型地域スポーツクラブによる主要体育館を主な活動拠点とした教室の開催や市民体育大会、元旦マラソンの開催等、市民のスポーツ参加の機会づくりに努めた。 ・富山マラソン2017の開催に伴い運営ボランティアの活用を図り、沿線住民をはじめ各種団体の協力を得ることで、市民の一体感の醸成につなげ、ジョギングの部に、ファミリー層の参加を促した。 	46
17	スポーツ・レクリエーション施設の整備	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小杉総合体育センターにおいて、ハンドボール日本リーグ受入態勢整備のため、システムタイマーを購入した。 ・新湊テニスコートにおいて、人工クレーコートに改修した。 ・ねんりんピック富山受入態勢整備のため、大島弓道場の安土及び射場床面を改修及び下村パークゴルフ場の管理棟空調機器を更新した。 	49

基本的施策の評価

凡例 A 順調に進んでいる B 概ね順調に進んでいる
C やや遅れている D 遅れている

教育に関する事務の点検・評価報告書に関する意見聴取会（7月4日）での主な意見の回答及び修正箇所

頁	意見（質問）	回答（修正箇所）
5	<p>上段から19行目 「<u>中央より講師を招き</u>」の「中央」表記を改めてはどうか。</p>	<p>次のとおり修正します。 <u>学習指導要領道徳編解説の執筆に携わった大学教官を講師に招いて「道徳の教科化を迎えて～小中連携で進める道徳教育の在り方～」と題する講演会を開催した。</u></p>
7	<p>上段から21行目 「メディアコントロール期間」の用語が分かりづらいため、分かりやすい内容または用語解説を追記してはどうか。</p>	<p>次のとおり修正します。 ・中学校の試験期間に合わせて、中学校区4校一斉の家庭学習強化期間やテレビの視聴やゲームの時間等の決まりを守るメディアコントロール期間を設けたことから、家庭での生活習慣を見直すきっかけとなり、児童生徒の学習時間が増加した。</p>
9	<p>下段から10行目 「対人関係ゲーム」の用語が分かりづらいため、用語解説等を追記してはどうか。</p>	<p>次のとおり用語解説を追記します。 <u>集団づくりのためのカウンセリング技法のひとつ。個を変えるのではなく、個を受け入れられる集団をつくることを目的とし、活動的な遊びを通じて「交流、協力、連携、心を通わす、他者と折り合う」という集団の変容を図る。田上不二夫氏（教育学博士、東京福祉大学大学院心理学部教授）が開発した。</u></p>
12	<p>上段から5行目 「「外遊びをする子どもが増加していくことを検討する。」とあるが、現状を考えると色々な環境によって外遊びができない、しない子供がいることなどから「こういう形の外遊びをする子供を増やしたい。」と記載してはどうか。また、家庭との連携、地域との連携も含めて内容を見直してはどうか。</p>	<p>次のとおり修正します。 ・社会情勢が変化する中で、外遊びをする子供たちが少なくなっている。<u>学校だけでなく、保護者や地域の協力も得て、体を使う遊びを紹介したり、外で実際に遊ぶ機会を設けたりすることで、友達と協力して遊ぶ楽しさ、汗をかいて遊ぶ心地よさを味わわせていく必要がある。</u></p>

頁	意見（質問）	回答（修正箇所）
14	上段から9行目 「状況にある者」を「状況にあること」に改めてはどうか。 「・・・ <u>状況にある者</u> 」 → 「・・・ <u>状況にあること</u> 」	左のとおり修正します。
15	上段から14行目 「小中学校ともに・・・理解の浸透が進んでいない。」の表現は、実績の割合を見ると、直した方がよいのではないか。	次のとおり修正します。 <u>小中学校ともに高い水準を維持している。今後とも、朝食を 取ることやバランスの良い食生活に対する理解の浸透を進める。</u>
15	上段から21行目 <u>・朝食を食べてこない児童生徒の背景や要因について調査する とともに、引き続き朝食の大切さを周知していく必要がある。</u>	【今後の取組の方向性】に、左のとおり追加します。
15	下段から6行目 「原因食物を「提供する」か「提供しない」かの二者択一を原則的な対応とした。」と記載してあるが、この表現ではわかりづらい。わかりやすい文章に改めてはどうか。	次のとおり修正します。 ・アレルギーを有する児童生徒へ給食を提供する上で、安全性を最優先するため、原則、原因食物を「提供しない」こととした。
16	上段から9行目 表中、食材の使用料（金額ベース）を食材の使用割合（金額ベース）に直してはどうか。 「 <u>使用料</u> 」 → 「 <u>使用割合</u> 」	左のとおり修正します。
18	上段から11行目 「 <u>鳳雛</u> 」にふりがなを付してはどうか。 「 <u>鳳雛</u> 」 → 「 <u>ほうすう</u> 鳳雛」	左のとおり修正します。
18	下段から6行目 「理解が深める」を「理解を深める」や「理解が深まる」に直してはどうか。 「 <u>理解が深める</u> 」 → 「 <u>理解を深める</u> 」	左のとおり修正します。

頁	意見（質問）	回答（修正箇所）
18 19	<p>「射水市子ども議会体験プログラム」に関する記述を次のとおり追加します。</p> <p>「総括」</p> <p><u>・ふるさと教育として、小学生を対象に開催した「射水市子ども議会体験プログラム」は市政を学べる貴重な体験となった。</u></p> <p>「主な取組状況」</p> <p><u>・ふるさと教育の取り組みとして、小学生を対象に「射水市子ども議会体験プログラム」を開催した。参加した小学校7校の6学年311人の児童は、議場で市議会の仕組みや役割を学ぶとともに、議長役、議員役、市長役、当局役となり議案の提案から質問、答弁を経て議決されるまでを模擬体験した。</u></p> <p>「主な課題・成果」</p> <p><u>・「射水市子ども議会体験プログラム」に参加した児童からは、「市議会の役割や仕組みを知ることができた。普段入れない議場や委員会室など見学することができ、貴重な体験となった。」などの感想があった。</u></p> <p>「今後の取組の方向性」</p> <p><u>・新規事業として実施した「いみず鳳雛きらめき塾」及び「射水市子ども議会体験プログラム」はいずれも児童生徒にとって貴重な体験となる事業であり、今後も継続していく。</u></p>	<p>左のとおり追記します。</p>

頁	意見（質問）	回答（修正箇所）
19	<p>下段から2行目</p> <p>「乾かす場所が必要なため」を、別の理由にしてはどうか。</p> <p>「乾かす場所が必要なため」 →</p>	<p>左のとおり修正します。</p> <p><u>・牛乳パックのリサイクルにおいては、限られた強調期間の中で高い環境教育の効果が得られるよう、学校や児童の実態に応じた取り組みの工夫が必要である。</u></p>
21	<p>上段から18行目</p> <p>「事故等を未然に防いでいる。」を「事故等が無いようにしている」や「事故等を未然に防ぐようにしている。」に直してはどうか。</p> <p>「事故等を未然に防いでいる。」 → 「事故等の未然防止に努めた。」</p>	<p>左のとおり修正します。</p>
23	<p>下段から7行目</p> <p>「<u>・情報モラルの浸透を図るため、・・・講習会等を行った。</u>」の内容を、危険回避をしながらも、積極的に活用する姿勢を育成するような表現に改めてはどうか。</p>	<p>次のとおり修正します。</p> <p><u>児童生徒が安全に情報機器を使用するための環境づくりや、適切に情報機器を使用する力を育成するため、各小中学校において、児童生徒、保護者、教職員対象に情報社会での行動に責任をもつことや、情報を正しく安全に利用することなどについて学ぶ講習会を行った。</u></p>
25	<p>上段から8行目</p> <p>用語解説中、「開発のため」又は「発展のため」のどちらが正しいか言葉の定義を調べてほしい。</p>	<p>ESDの訳語については、「持続可能な発展のための教育」と訳し、略称として「持続発展教育」を用いていましたが、2014年のユネスコ世界会議に向け、日本政府内の訳語を統一する必要があるため、今後ESDの訳語は、政府として作成する文章においては、「持続可能な開発のための教育」とされています。</p>
26	<p>下段から9行目</p> <p>「<u>・学校評議員には、・・・できた。</u>」を、分かりやすい文章に直してはどうか。</p>	<p>次のとおり修正します。</p> <p><u>・学校では、学校評議員から地域の評価や意見等を聞いて、学校教育に地域の特色を取り入れることができた。</u></p>

頁	意見（質問）	回答（修正箇所）
27	<p>上段から12行目</p> <p>「・マイスター教員として20人の教員を認定し・・・広く市内の教員に伝授した。」となっているが、マイスター教員の主な活動内容を追記してはどうか。</p>	<p>次のとおり修正します。</p> <p>・高い専門性と実践的指導力を有し、児童生徒のために優れた教育活動を実施している教員を「マイスター教員」として20人の教員を認定した。(小学校：教科7人、特別支援2人、ICT2人、中学校：教科7人、ICT2人)年2回以上の授業公開や研修での指導等を通じて、その優れた実践的指導力を広く市内の教員に伝授した。</p>
27	<p>上段から15行目</p> <p>「スタンダード委員会」の用語説明がないため、「授業力向上 射水トライアル3点セットを推進するためにスタンダード委員会を開催し、」としてはどうか。</p>	<p>次のとおり修正します。</p> <p>・「<u>授業力向上射水トライアル3点セット</u>」の活用推進を図るため、各校教頭、教務主任を中心として「<u>射水スタンダード委員会</u>」を組織し、活用の成果と課題を確認した。確認内容に即して「<u>射水スタンダード～授業のABC～</u>」を改訂し、一層の活用推進を図った。</p>
28	<p>上段から27行目</p> <p>(アプローチカリキュラム・スタンダードカリキュラム)について、用語解説等を付けてはどうか。</p>	<p>次のとおり用語解説を追記します。</p> <p><u>幼児接続期カリキュラム</u></p> <p>①アプローチカリキュラム(就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習へ適応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校の生活や学習で生かされてつながるように工夫された5歳児のカリキュラム)と、②スタートカリキュラム(幼児期の育ちや学びを踏まえて、小学校の授業を中心とした学習へうまくつなげるため、小学校入学後に実施される合科的・関連的カリキュラム)を指す。</p>
30	<p>上段から15行目</p> <p>用語解説中、②幼稚園型、「備えて」を「備えることで」に直してはどうか。</p>	<p>次のとおり修正します。</p> <p>保育所的な機能を備えることで認定こども園</p>

頁	意見（質問）	回答（修正箇所）
33	<p>上段から18行目 家庭教育アドバイザー」の用語解説等を追記してはどうか。</p>	<p>次のとおり用語解説を追記する。 <u>家庭教育アドバイザー</u> <u>市主催の家庭教育アドバイザー養成講座を受講後、市家庭教育アドバイザー連絡協議会に加入し、家庭教育力向上や子育て支援のサポート役として活動している。</u></p>
33 34 35	<p>「あったか家族応援プロジェクト」等に関する記述を次のとおり追記します。</p> <p>「総括」</p> <p><u>・心身ともに安定した健やかでたくましい子供を育むために、あったか家族の愛ことば「家族いっしょに食事 おしゃべり お手伝い」を市内の関係団体の協力を得ながら普及啓発活動を展開した。</u></p> <p>「主な取組状況」</p> <p><u>・あったか家族の愛ことば「家族いっしょに食事 おしゃべり お手伝い」の普及啓発のため、あったか家族応援プロジェクトとして射水青年会議所が中心となり、「あったか家族」をテーマにした標語を募集し、その中の優秀作品を基に啓発動画制作に取り組んだ。</u></p> <p>「主な成果・課題」</p> <p><u>・あったか家族応援プロジェクトでは、射水青年会議所が中心となって市内の全小学校に「あったか家族」をテーマとした標語募集を行い、子供や保護者があらためて家族との団らんやコミュニケーションの大切さに気付く良いきっかけとなった。</u></p>	<p>左のとおりに追記します。</p>

	<p>「今後の取組の方向性」</p> <p>・<u>あったか家族応援プロジェクトでは、平成30年4月から、制作した啓発動画を射水ケーブルテレビやユーチューブ、本庁舎エントランスで放映するなど、各種団体と連携しながら、市全体で「あったか家族の愛ことば」の普及啓発の機運を高めていく。</u></p> <p>②食育教育の推進「主な取組状況」</p> <p>・<u>子育て井戸端会議にて家庭教育リーフレット「あったか家族3つのポイント」を配布・説明し、小学1年生の保護者に対しては「早寝早起き朝ごはん」の冊子を配布し、食を通じた家族とのコミュニケーションや望ましい食習慣の実践の大切さを伝えた。</u></p> <p><u>(再掲)</u></p>	
34	<p>上段から13行目以降</p> <p>主な成果・課題の中に、孫育て談義の開催回数や参加者数等について、事前質問の回答のように、その実績を成果として追記してはどうか。</p>	<p>次のとおり追記する。</p> <p>・<u>全小中学校で実施した親学び講座は、小学校においては34回、中学校においては8回の合計42回開催し、参加者数は、延べ4,449名であった。</u></p>
41	<p>下段から13行目</p> <p>「・マイナンバーカードによる・・・利用者の利便性を図った。」と記載してあるが、具体的な事例等を追記してはどうか。</p>	<p>次のとおり修正します。</p> <p>・マイナンバーカード（個人番号カード）による図書館資料の貸出しシステムを導入し、<u>県立図書館をはじめ、他市図書館での図書貸出しを1枚のカードでできるよう利用者の利便性を図った。</u></p>

学び応援塾の実施について（学力向上対策事業）

学校教育課

1 小学生学び応援塾（平成29年度～）

(1) 目的

小学校中学年児童を対象に、放課後補充学習に対する支援を行い、基礎学力と学習習慣の定着を図る。

(2) 実施校

- ・ 平成29年度から継続・・・作道小学校、小杉小学校、大門小学校、大島小学校
- ・ 平成30年度新規・・・・・・塚原小学校

(3) 対象者

3年生を対象（校長の判断により4年生児童の参加可）、20名程度。

(4) 活動内容

市教育委員会が準備した算数プリントを使った学習を行う。支援員等（教員OB及び教員有資格者）がわからないところを個別に指導。

- ・ 週1回（放課後16：00～16：45） 年間30週実施予定
- ・ 指導者（支援員（元教員、教員有資格者）、富山国際大学学生）

2 中学生学び応援塾（平成27年度～）

(1) 目的

市内中学生の学習機会の充実及び学力向上を図る。

(2) 実施日程

4日間（午前・午後を各1回とし4日間で計8回実施）

(3) 対象者

3年生を対象（校長の判断により対象学年の拡大可）、20～30名程度。

(4) 活動内容

中学生が自学自習（英語、数学）を行い、質問等がある場合、学生講師や教員有資格者が指導、助言等による学習支援を行う。

- ・ 学生講師の配置・・・富山県立大学、富山国際大学、富山高等専門学校へ協力依頼。

(5) 各校の実施予定

	8/20 (月)	8/21 (火)	8/22 (水)	8/23 (木)	8/27 (月)	8/28 (火)	8/29 (水)	8/30 (木)
新 湊	-	-	●	●	-	-	●	●
新湊南部	●	-	-	-	●	●	●	-
射 北	●	●	-	-	●午後	●	-	-
小 杉	-	-	●	●	-	-	●	●
小杉南	●	●	●	●	-	-	-	-
大 門	●	●	●	●	-	-	-	-

第 39 回北信越中学校総合競技大会の出場選手について

射水市教育委員会

1 出場選手（競技・種目別）

No.	競技・種目	男子	女子	計	学校別内訳
1	陸上競技	8	6	14	小杉中（男2）、大門中（男6） 大門中（女6）
2	水 泳	2	1	3	大門中（男1）、新湊南部中（男1） 大門中（女1）
3	ソフトテニス	0	16	16	小杉中（女8）、小杉南中（女8）
4	卓 球	0	9	9	小杉中（女9）
5	バレーボール	12	0	12	大門中（男12）
6	柔 道	3	1	4	小杉中（男3） 小杉南中（女1）
7	剣 道	0	1	1	小杉中（女1）
8	相 撲	6	0	6	小杉中（男1）、大門中（男4）、 新湊南部中（男1）
9	体 操	0	1	1	大門中（女1）
合 計		31	35	66	（のべ79名出場）

※H29年度（開催：長野県）10競技 113名出場

2 出場選手（学校別）

No.	学校名	男子	女子	計
1	新湊南部	2	0	2
2	小 杉	6	18	24
3	小杉南	0	9	9
4	大 門	23	8	31
合 計		31	35	66

平成30年度第1回射水市図書館協議会について

中央図書館

1 会議

日時：平成30年6月27日（水） 午後1時30分から

場所：中央図書館 2階多目的会議室

報告・協議事項

- (1) 平成29年度図書館事業概要について
- (2) 平成30年度図書館事業（計画）について
- (3) その他

2 委員

任期：平成30年4月1日から2年間

氏名	所属団体等	備考
上田 秀永	射水青年会議所	
沢田 良子	市中学校長会	
尾間 利恵	市小学校長会	
高島 としみ	市生涯学習推進協議会	
瀧田 秀成	市児童クラブ連合会	
千田 良介	市家庭教育アドバイザー協議会	
楠井 悦子	図書館ボランティア団体	
山崎 一佳	学識経験者	
五十嵐 清	学識経験者	
石黒 進	一般公募	

3 主な質疑・発言

Q 今年度特に力を入れているとか、メインに頑張っていくものがあればお聞かせ願いたい。また、市全体で司書の資質を上げる研修の充実を図ってほしい。【委員】

A より多くの方々に図書館に来ていただけるよう、評判のよい本の購入や時世に応じた企画展の実施に努めていきたい。昨年度実施した学校司書を対象とした研修は、研修の内容等について司書のご意見を伺いながら今後とも実施していく。【事務局】

Q スマホやパソコンの普及が読書離れの要因の一つとの説明があったが、お勧めの本があれば教えてあげるなど、子どもの背中を押すことで読書の広がりが出てくるのではないかと。取っ掛かりが大切である。【委員】

A 今年も14歳の挑戦で図書館の仕事を体験した中学生が勧める本を紹介展示する企画展を開催した。今後も継続していきたい。【事務局】

Q 下村図書館は、下村地域が市の東部に位置していること、児童館と併設されていることから本江やその近辺の方々の利用も多い。現状維持をお願いしたい。【委員】

A 市の図書館は将来的には2館体制を考えているが、時期は明確ではない。重要なことは、購入した本がどれだけ活用されているか、かけた予算に見合ったあるいはそれ以上の働き・豊かさ・時間を産み出しているのかということである。【事務局】

資料 5

平成 30 年 8 月 の 主 な 行 事 予 定

日 曜	時 間	場 所	行 事 予 定	主 務・関 連 課	教 育 委 員 会 出 席
1	水 9:30	富山大学	いみず親学びスクール	生涯学習・スポーツ課	
2	木				
3	金 10:00	本庁舎会議室302	教育委員会臨時会	学校教育課	○
4	土 13:30	新湊博物館	木の実で戦国武将コマを作ろう	新湊博物館	
5	日 13:30	新湊博物館	木の実で戦国武将を作ろう	新湊博物館	
6	月 10:00	水戸田コミュニティセンター	じいちゃんばあちゃんの孫育て談義	生涯学習・スポーツ課	
	10:00	富山大学	いみず親学びスクール	生涯学習・スポーツ課	
7	火				
8	水				
9	木 10:00	富山大学	いみず親学びスクール	生涯学習・スポーツ課	
10	金				
11	土				
12	日				
13	月				
14	火				
15	水				
16	木				
17	金				
18	土				
19	日				
20	月 10:00	東京都内	いみず鳳雛きらめき塾(～8/21)	学校教育課	
21	火 10:00	大門コミュニティセンター	じいちゃんばあちゃんの孫育て談義	生涯学習・スポーツ課	
22	水 9:00	堀岡コミュニティセンター	射水市生涯学習推進協議会視察研修会	生涯学習・スポーツ課	
	9:00	新湊博物館	小杉高校インターンシップ(～8/24)	新湊博物館	
23	木				
24	金				
25	土				
26	日				
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				
31	金				

展示等

自	至	場 所	展 示 名	自	至	場 所	展 示 名
6/29	9/9	新湊博物館	企画展「思い出のおもちゃ」展				
7/18	8/15	中央図書館	「夏の風物詩を身近に…」				

平成 30 年 9 月 の 主 な 行 事 予 定

日	曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
1	土					
2	日					
3	月		市内幼稚園・小中学校	第2学期始業式	学校教育課	
4	火					
5	水					
6	木					
7	金					
8	土		市内中学校	中学校運動会(新湊、新湊南部、射北、小杉、小杉南、大門)	学校教育課	
9	日					
10	月					
11	火					
12	水	10:00	堀岡コミュニティセンター	じいちゃんばあちゃんの孫育て談義	生涯学習・スポーツ課	
13	木					
14	金	10:00	新湊博物館	没後50年文人陶芸家「石黒宗廣展」オープニング式典	新湊博物館	○
15	土		アルビス小杉総合体育センター小アリーナ	射水市科学展覧会(～8/16)	教育センター	○
16	日	9:00	新湊博物館	呈茶会	新湊博物館	
		13:30	新湊博物館	記念講演会	新湊博物館	
17	月					
18	火					
19	水	10:00	本庁舎会議室302	放課後子ども教室教育活動推進員等研修会	生涯学習・スポーツ課	
20	木					
21	金					
22	土	15:00	アルビス小杉総合体育センター	ハンドボール日本リーグ(女子)公式戦 プレステージ・インターナショナル アランマーレ×北國銀行	生涯学習・スポーツ課	
23	日					
24	月					
25	火					
26	水					
27	木					
28	金					
29	土		右記小学校	学習発表会(大島小学校)	学校教育課	
30	日					

展示等

自	至	場 所	展 示 名	自	至	場 所	展 示 名
6/29	9/9	新湊博物館	企画展「思い出のおもちゃ」展				
9/14	11/25	新湊博物館	開館20周年記念展「没後50年文人陶芸家 石黒宗廣」				